



「日本の入管政策と排外主義」

問題提起者：永野 潤さん（首都大学東京ほか）

日時：2018年7月22日（日）13:30～16:30

会場：渋谷区勤労福祉会館 第3会議室

参加者：12名

内容：2017年、日本で暮らす外国人は250万人を超えました。人口減少と人手不足が深刻化するなか、大勢の人々が外国から移住しています。その一方で法制度は整ったとは言えず、「外国人技能実習制度」などによって過酷な生活を強いられている人たちがいます。そんな現実と制度の間のひずみのなかで、違法とされ、収容所に入れられた人々は、人権を剥奪され、ハンストが実行され、自殺者が出るまでにいたっています。今回の討論会では、収容された人や収容所を仮放免された人たちの支援の現場から、いま、何が起こっているのか、どうあるべきなのかを考えます。